令和４年度 重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立中田中学校

具体的な達成目標

【重点目標】　「互いのよさを認め高め合い、主体的に活動する生徒の育成」

◇目指す生徒像
- 自ら考え、自ら学ぶことができる生徒
- 心身を鍛え、困難を乗り越えることができる生徒
- 物事に主体的に取り組むことができる生徒
- 相手のことを考えて行動できる生徒

◇具体的な達成目標　（実態調査から）

【互いのよさを認め高め合う】
- 多様な意見や考えを尊重し、自分の考えを発言（表現）する生徒　７０%以上
- 自分のよさや他人のよさに気付き、認め伝え合う生徒　８０%以上
- 思いやりのある言動を心がけ、助け合い、協力して活動する生徒　９０%以上

【主体的に活動する】
- 進んで挨拶し、清掃に取り組む生徒　８５%以上
- 時間を決めて家庭学習に取り組む生徒　７５%以上
- 行事や生徒会活動に主体的に取り組み、自分の力を発揮する生徒　８５%以上

前年度

○　今年度の重点課題設定について

昨年度は、学習面の「よく考えて発言(表現)し、他の意見を聞きさらに考えを深める」「学年相応の時間の家庭学習の充実」については、課題が残った。今年度は、「互いのよさを認め高め合う」「主体的に活動する」を目標とした活動に位置付け、継続して取組み、学力向上につなげたい。

また、挨拶や清掃活動、学校行事、生徒会活動等に主体的に取り組ませ、成功体験を味わわせるとともに、その活動を認め励ますことを通して生徒のやる気を育てたい。

行動Ⅰ

【互いのよさを認め高め合う】

①　「分かる」「できる」授業に努めるとともに、人の説明や意見等をしっかり聞いて考えさせ、表現させる活動を工夫する。

②　授業や学校行事、生徒会活動において、自己存在感を高め、互いを認め高め合う機会を増やす。

③　思いやりのある言動を心がけ、仲間と助け合い、協力して活動するよう指導する。

【主体的に活動する】

①　挨拶や清掃活動等、教師自らが率先垂範しながら生徒に指導する

②　家庭学習への取り組み方を工夫させ、自らが決めた家庭学習時間を定着させる。

③　主体的に生徒会活動等に取り組ませるよう工夫し、生徒の活動を認め励まし、成就感を味わえるようにする。

中間評価

中間評価
- 前期の学校評価（教師、生徒、保護者）を実施する。
- 評価結果（成果、課題等）を分析し、具体的な改善策を検討する。
- 学校評議員会(10月)で評価結果を提示し、改善策について協議する。
- 評価結果は、学校だよりや保護者会等で提示する。

行動Ⅱ

【互いのよさを認め高め合う】

①②③は継続

④　互いのよさを認め高め合えるよう「学び合い」を重視した指導を行う。

⑤　SDGsと関連させて、積極的に地域環境美化に協力できるよう指導する。

【主体的に活動する】

①②③は継続

④　家庭学習課題の出し方等について教師自身が評価し改善を図る。

⑤　行事や生徒会活動における望ましい態度や行動を称賛したり感謝の言葉がけをしたりすることで、自己有用感の向上を図る。

年度末評価

年度末評価
- 後期の学校評価（教師、生徒、保護者）を実施する。
- 評価結果（成果、課題等）を分析し、次年度の具体的な改善策を検討する。
- 学校評議員会（２月）で評価結果を提示し、改善策について協議する。
- 評価結果は、学校だよりやＨＰで提示する。

次年度

次年度に向けてのアクションプランの作成

目標を達成できた内容についてはより高い段階へ、達成できなかったものについては内容を吟味し、次年度の目指す生徒像を共通理解して、アクションプランを作成する。